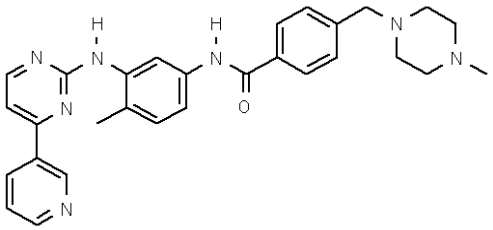
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2008-504333(P2008-504333A)
【公表日】平成20年2月14日(2008.2.14)
【年通号数】公開・登録公報2008-006
【出願番号】特願2007-518546(P2007-518546)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/506　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/506
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月30日(2008.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
同時に、個別にまたは連続して使用するための、ＢＣＲＰ阻害剤および式Ｉ
【化１】



(I)

の化合物Ｉ（ここで、両活性成分は、いずれの場合も遊離形または薬学的に許容される塩形として存在する）、ならびに所望により少なくとも１種の薬学的に許容される担体を含む、組み合わせ剤（ただし、ＢＣＲＰ阻害剤が化合物Ｉでない）。
【請求項２】
固定された医薬組成物である、請求項１記載の組み合わせ剤。
【請求項３】
ＢＣＲＰ阻害剤が、パントロプラゾール、トリプロスタチンＡ、フミトレモルギンＣ、Ｋｏ１３２、Ｋｏ１３４、Ｋｏ１４３、ＧＦ１２０９１８、キナゾリン－ベースＨＥＲファミリーチロシンキナーゼ阻害剤ＣＩ１０３３、エストロゲンからなる群から選択される

ことを特徴とする、請求項１または２記載の組み合わせ剤。
【請求項４】
ＢＣＲＰ阻害剤がＧＦ１２０９１８であることを特徴とする、請求項３記載の組み合わせ剤。
【請求項５】
ＢＣＲＰ阻害剤がパントロプラゾールであることを特徴とする、請求項３記載の組み合わせ剤。
【請求項６】
癌の進行の遅延または処置における、同時に、個別にまたは連続して使用するための、請求項１から４のいずれかに記載の組み合わせ剤。
【請求項７】
さらにＰ－糖タンパク質（Ｐ－ｇｐ）阻害剤を含む、請求項１から６のいずれかに記載の組み合わせ剤。